

博士人材データベースを活用したキャリア開発支援
「大阪大学 若手研究人材動態データベース」をふまえて



2014 6. 2.

大阪大学 理事・副学長
相本 三郎

大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

大阪大学若手研究人材動態データベース開発の経緯

- 科学技術関係人材のキャリアパス多様化促進事業 [2006年度～2008年度実施]
「プロジェクト活用型科学技術キャリア創生モデル事業」

大阪大学144施設のすべての研究室を対象にヒアリング調査を実施
若手研究人材(PD)と直接意見交換できる環境を整備



- イノベーション創出若手研究人材養成事業 [2008年度～2012年度実施]
「協働育成型イノベーション創出リーダー養成(CLIC)事業」



キャリア創生モデル事業での成果を引き継ぎ、全学事業に発展
若手研究人材動態データベースとして、博士後期課程在籍者およびPDのデータの定期的な収集に取り組む

◆調査項目

- プロフィール項目 (後期課程学生: 所属、学年、社会人・留学生フラグ etc...)
(若手研究人材: 所属、職位、任期、雇用財源、給与、保険、博士号取得日 etc...)
- 動態項目 (後期課程学生: 就職・進学先、雇用形態、産業分類、職業分類 etc...)
(若手研究人材: 前職、退職日、異動先、異動先詳細 etc...)



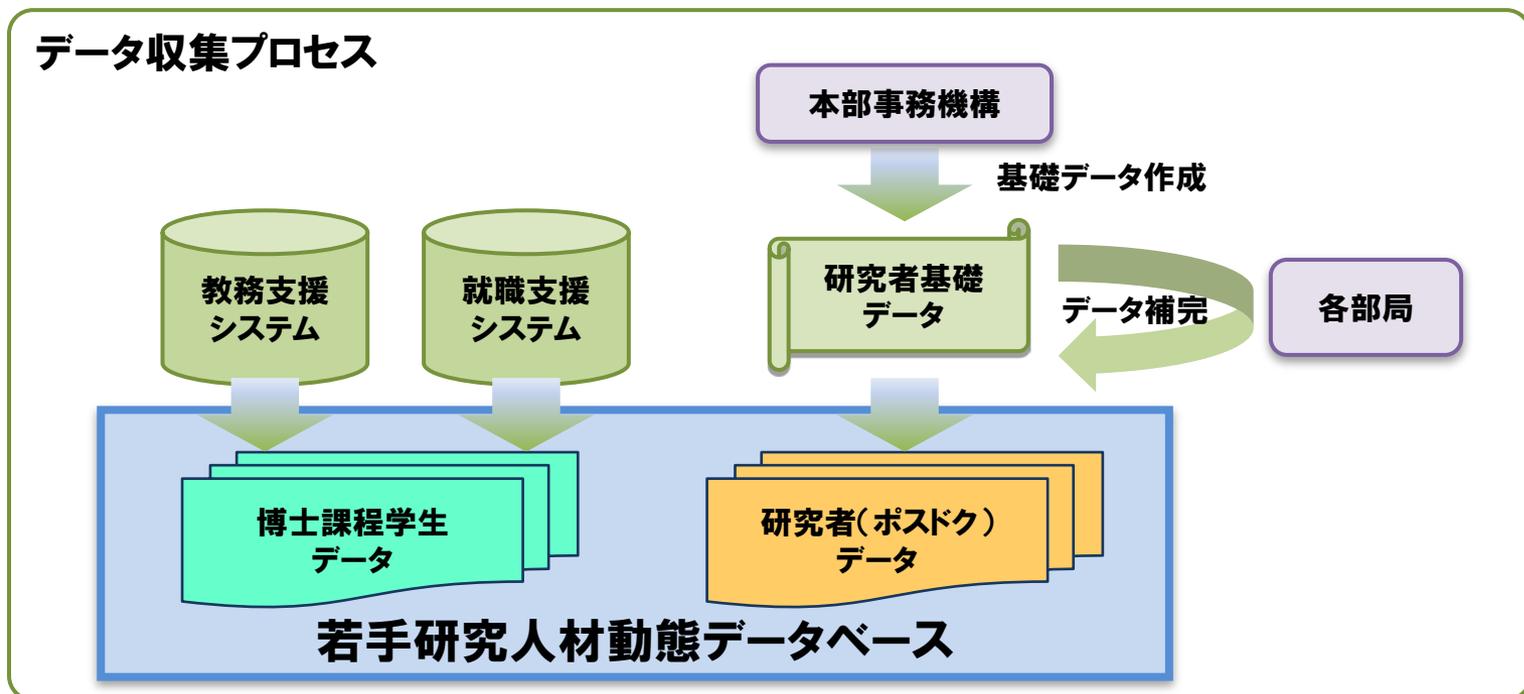
大阪大学若手研究人材動態データベースの概要

【データベース概要】

大阪大学では2008年のCLIC事業開始時より継続して、「若手研究人材動態データベース」として、全学の「博士人材」(博士課程学生・ポスドク)を主な対象に、その動態データを収集し分析を行っている。

【データ収集プロセス】

- 博士課程学生については主に教務支援システム及び就職支援システムからデータを収集している。
- ポスドク等の研究者については、本部事務機構内の関連データを集約して基礎データを作成し、適宜各部署でデータ補完を依頼し、精度を高めている。



大阪大学のIRにおける博士人材データベースの位置づけ(計画)

